

1 題材名 世界の音楽めぐり (教材:「ケチャ」「春の海」「さくらさくら」)

2 題材の目標

- ・我が国の音楽を含む世界の多様な音楽のよさを感じ取って聴いたり、意欲的に表現したりする。
- ・箏のもつ独特な音色や奏法を味わい、我が国の音楽への関心を高める。

3 題材の評価規準

- ・世界の多様な音楽や我が国の音楽に関心をもち、意欲的に鑑賞したり、表現したりしている。
(音楽への関心・意欲・態度)
- ・我が国の音楽や諸外国に伝わる音楽を聴いて、それぞれの楽曲の美しさや特徴を感じ取り、表現を工夫している。
(音楽的な感受や表現の工夫)
- ・範奏を聴いて、その音楽を特徴づけている要素を感じとって演奏したり、それら相互のかかわりとらえて演奏している。
(表現の技能)
- ・さまざまな音楽のよさを感じ取って聴くとともに、音色の美しさや楽曲構成、曲想の変化などを感じ取って聴く。
(鑑賞の能力)

4 指導にあたって

(1) 教材のポイント

この題材では、世界の多様な音楽や日本の音楽を聴いたり演奏したりして、子ども一人ひとりの豊かな音楽観を広げることをねらいとする。はじめに世界の音楽を見たり聴いたりすることで、民族の様子や様々な音楽の特徴を感じ取り、題材に興味をもてるようにする。また、「ケチャ」のリズムを全員で練習し、その面白さを体得する。「春の海」では、地域の方に来て頂き子どもたちの目の前で演奏してもらうことにより、日本の楽器「箏」や尺八の音色、音の重なり、響きなどにより親しめるのではないかと考える。鑑賞により自分たちも「やってみたい」との思いを引き出し、実際に「箏」に触れることで日本の音楽への関わりを深めたい。

(2) これまでの指導を通して

「つばさをください」や「おぼろ月夜」を歌ったときは、「自分が気持ちよく歌おう」と呼びかけ、口の開きや声の響きにはこだわらなかった。高学年になるほど恥ずかしがるのか、音楽の時間には、まず「表現しようとする意欲」をもつことが課題であると考えた。この題材は、鑑賞と表現の二本立てになっており、鑑賞を通して「やってみたい」という気持ちの芽生えが、表現への意欲になればよい。「ケチャ」では、全員で声を出し楽曲を創る楽しさが味わえるだろう。先日の古典芸能鑑賞教室で、実際に「箏・三味線」といった楽器を目にし触れる機会もあり、日本の楽器に対する子どもたちの興味は膨らんでいると考える。

(3) 主題にせまるために

本時の学び合いの場面は、「さくらさくら」の練習をする中で、箏の先生から教えてもらうところと、友だちと教えあったり伴奏を工夫したりところである。学ぶ意欲を引き出すため、できるだけたくさんの箏を準備し触れる時間をもつ。はじめての「箏」に難しさを感じる児童もいるだろうが、授業後には自分も「箏」を演奏することができたという満足感や達成感が味わえればよいと考えている。その気持ちが日本の伝統的な楽器や曲への興味につながるだろう。

5 指導計画と評価規準（総8時間）

次	活動活動	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
一 （二時間）	・世界の音楽を鑑賞する。（1）	・世界の多様な音楽に関心を持ち、鑑賞したり、視聴したりしている。			・各国の楽器の響きやそれによる音楽のよさやおもしろさを感じ取って聴く。
二 （三時間）	・「ケチャ」を鑑賞する。（1）	・ケチャの演奏形態や声の重なりによってうまれる多彩な響きに関心をもって聴こうとしている。			・ケチャを特徴づけているリズムや旋律、発声の仕方からうまれる多彩な響きを感じ取って聴く。
	・「ケチャ」の表現を楽しむ。（1）	・ケチャを聴いて同じように演奏したいという思いや願いをもち、意欲的に表現しようとしている。			
	・「ケチャ」をしああげる。（1）		・友だちと一緒にケチャの特徴的なリズムを演奏することのよさや喜びを感じとっている。	・ケチャの特徴的な要素を感じ取って演奏したり、他のパートとの相互の関わりをとらえて演奏したりしている。	
三 （二時間）	・日本の楽器「箏」の演奏を鑑賞する（1）	・箏に興味をもち、意欲的に鑑賞したり、視聴したりしている。			・音色の美しさや楽曲構成、曲想の変化などを感じ取って聴く。
四 （三時間）	・「さくらさくら」を演奏する（1）	・箏に興味をもち、積極的に演奏しようとしている。			
	・「さくらさくら」を演奏する（1） 【本時 2/3】	・箏の音色を楽しみながら、主体的に演奏しようとしている。	演奏している場面に接し、演奏の仕方の工夫、演奏の効果やよさを感じ取っている。		
	・「さくらさくら」のミニ発表会をする（1）			・箏の音色の特徴を生かして演奏している。	

6 本時の学習活動

(1) ねらい

・「さくらさくら」について、演奏・鑑賞の両面から楽しむ。

(2) 評価規準

① 箏の音色を楽しみながら、積極的に演奏しようとしている。 (関心・意欲・態度)

② 演奏している場面に接し、演奏の仕方の工夫、演奏の効果やよさを感じ取っている。

(音楽的な感受や表現の工夫)

(3) 準備

NEO-KOTO (16面) 楽譜 振り返りカード ビデオカメラ

(4) 展開

配時	学習活動と意識の流れ	●留意点 ◇◆支援 評価
5	<p>1. 課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」の模範演奏を聴く。(6小節) ・前時に学習した6小節を全員で弾いてみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「さくらさくら」の曲を楽しみながら演奏してみよう。</p> </div>	<p>●前時にゲストティーチャーに指導していただき、基本的な箏の弾き方を知っておく。</p> <p>◇「七・七・八・・・」という風に弦の番号でも歌ってみる。</p>
10	<p>2. 5グループに分かれ、練習をする。</p> <p>○主旋律が弾けるようになろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>最後まで弾けるようになりたいな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>「五六八七六五一」のリズムが難しい。歌詞と合わないなあ。</p> </div> </div>	<p>◇ゲストティーチャーや音楽部会の先生方から教えてもらう。</p> <p>評価観点①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・箏の音色を楽しみながら、積極的に演奏しようとしている。【行動観察】</p> </div>
5	<p>○みんなで、合わせてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲らしくなってきたな。 ・練習のおかげで、上達したね。 	<p>◆まず雰囲気を楽しむよう声かけをする。</p>
10	<p>○伴奏を工夫してみよう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>グリッサンドを入れてみよう。一から弾いたり、巾から弾いたりしてみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>弦を押さえてみたら、ふわふわした音になるよ。</p> </div> </div>	<p>●ゲストティーチャーに弾き方をいくつか提示してもらう。</p> <p>●様子を見て、できたところまでの発表とする。</p> <p>◇短い時間で上達したことをほめ、演奏に自信をもつように働きかける。</p>
5	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>楽譜にある伴奏を人指し指で練習しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>龍角の横の部分を爪で弾いてみよう。</p> </div> </div>	<p>●ゲストティーチャーには、龍角から遠いところと近いところを意識して弾いてもらう。</p> <p>●ゲストティーチャーの演奏の仕方や音色の響きに、注意して聴くように働きかける。</p>
5	<p>5. 先生の模範演奏を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ楽器だけれど、ぼくたちの音とは違うなあ。 ・強弱がついていて、かっこいいな。 ・弾く場所によって、音の違いがあるよ。 	<p>◇振り返りカードを活用し、今日の活動を自己評価する。</p>
5	<p>5. 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命「さくらさくら」の練習ができたよ。 	<p>評価観点②</p>

- ・始めは難しいと思っていたけれど、だんだんできるようになってきた。
- ・箏の先生に教えてもらえてよかったな。
- ・箏の先生の演奏に少しでも近づきたいな。

次の時間は、合奏を完成させよう。

- ・演奏している場面に接し、演奏の仕方の工夫、演奏の効果やよさを感じ取っている。【振り返りカード】

- ◆自分と先生の箏の音色の違いについて書くよう促す。
- ◇次時の活動の見通しをもつ。